

## **教員の養成の状況についての情報（令和7年度版）**

1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること
2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること
3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること
4. 卒業者の教育職員免許状の取得の状況に関すること（過去5年分）
5. 卒業者の教員への就職の状況に関すること（過去5年分）
6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

## 1. 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

### <教員養成の理念と目標>

本学は、「学問研究の推進と、社会の規範となる人格形成を行うとともに、さらに青年らしい夢と理想を科学の場の中に実現することを目標とする」という理念を掲げ、設定したディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づき、工学系単科大学としての特性を活かし、各学科の教育研究上の目的に沿って「グローバルな知識と視点を持ち、幅広い産業界及び世界で活躍できる人間性豊かな技術者の育成」を行っている。

こうした人材育成の発展として教育職員養成課程が設けられ、その理念として「幅広い教養を基礎とした教育に対する深い認識と教科に関する工学的な知識・技能を身につける」、「教育に対する情熱と教職に対する真摯な使命感といった教員に求められる人格を形成する」、「次世代への科学継承を担うことで将来の日本の科学技術を支える人材を育成する」、「優れた教育技術とともに豊かな人間性を併せ持った教員を養成する」ことを掲げている。

この理念に沿って本学が目指す教員像は、以下の通りである。

#### ○人格的資質と情熱を持った教員

- ・豊かな人間性と教育に対する情熱を持った教員
- ・生徒に対する深い愛情と、教職に対する使命感を持った教員

#### ○教員としての専門性に立脚しつつ、生徒の側に立った教育実践を担う教員

- ・生徒の成長・発達に対する深い理解を持ち、生徒の多様なニーズを受け止められる教員
- ・常に教育技術の改善に取り組み、生徒の意欲を引き出す授業に取り組む教員

#### ○自己研鑽に取り組む教員

- ・幅広い教養を身につけ、それを教育実践に活かす教員
- ・常に研究と修養に励む向上心を持った教員

#### ○科学技術の継承を担う責任感を持った教員

- ・教育者として科学技術を支えることに尽力する教員
- ・常に新しい工学的知識・技術を求め、工学的知見を教育実践に生かす教員

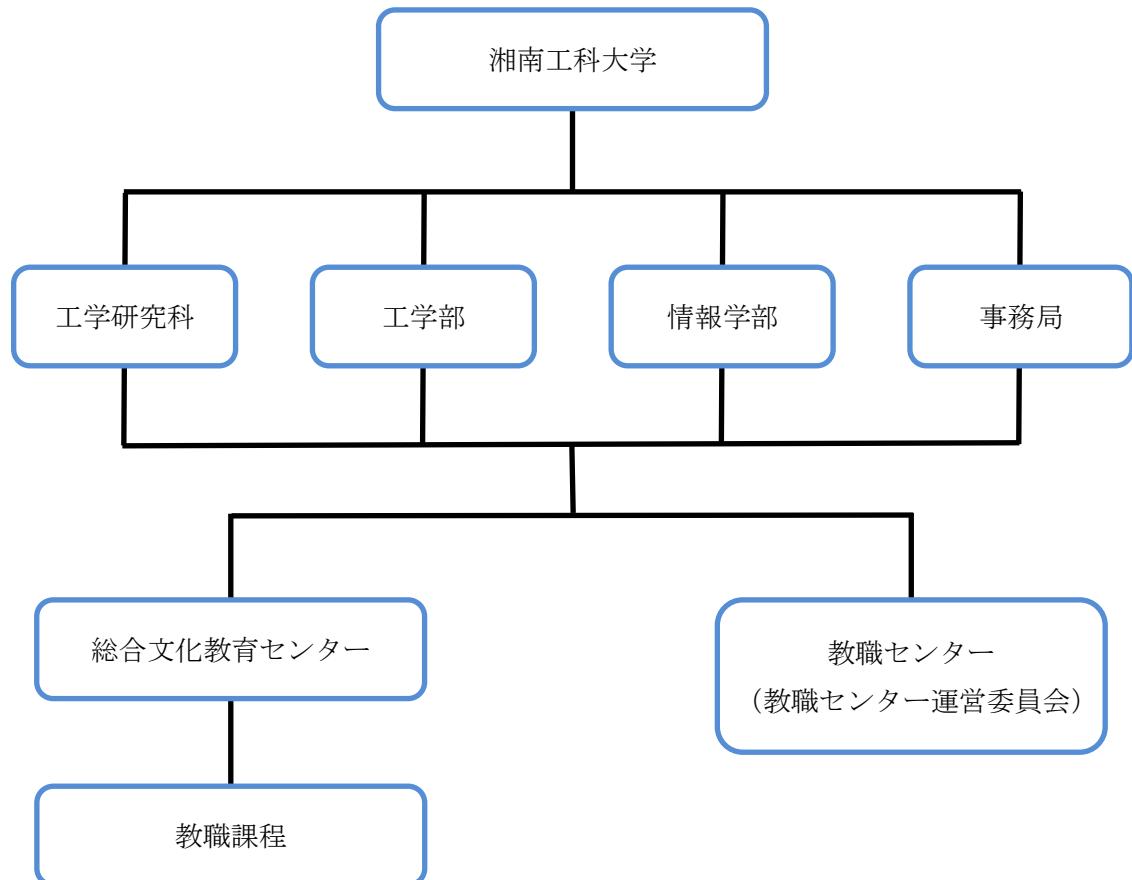
### <目標達成のための計画>

本学が定めた教員養成の目標を達成するために、各学科のカリキュラムを通じた専門性を高めるとともに、教育に関する知識を総合的に学び、統合していく力をつける教育を実施する。

1. 教職専門科目や教科科目に関する幅広い基礎知識を有し、自らの専門性を深めていくための教職課程カリキュラムの設置
2. 本学が推進するアクティブラーニングを導入し、学生が主体的に授業に参加できる学習内容・学習方法の工夫
3. 学生の持ち味を活かした人格的成長をめざし、教職課程全体を通して個々の学生の要望に対応する細やかな指導
4. 教職学習室の設置等、学年を超えて学生同士が学び合える様々な場の提供
5. 学校現場で実践的に活動できる力を育む学校ボランティアを推奨
6. 教職センター運営委員会を通じ、教職課程専任教員、教科科目担当教員、特別講師等との連携を強化

2. 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること

<教員養成に係る組織図>



<教員の養成に係る教員の数>

教育の基礎的理解に関する科目等

学部 専任教員 3 名 (ほか 非常勤講師 2 名)

教科の指導法に関する科目

学部 専任教員 1 名 (ほか 特別講師 2 名、非常勤講師 1 名)

教科に関する科目

工学部

機械工学科 専任教員 11 名 (ほか非常勤講師 10 名)

電気電子工学科 専任教員 8 名 (ほか非常勤講師 5 名)

総合デザイン学科 専任教員 8 名 (ほか非常勤講師 7 名)

人間環境学科 専任教員 8 名 (ほか非常勤講師 2 名)

情報学部

情報学科 専任教員 9 名 (ほか非常勤講師 11 名)

工学研究科博士前期課程

機械工学専攻 学部の専任教員が兼務

電気情報工学専攻 学部の専任教員が兼務

※ 上記は令和 7 年 5 月 1 日時点の人数

※ 非常勤講師は学科間での重複計上の場合あり

<各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目>

以下 (教員一覧) に掲載

<https://www.shonan-it.ac.jp/teachers/>

3. 教員の養成に係る授業科目、授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画に関すること

<各授業科目に関する情報>

以下（シラバス検索システム）に掲載

<https://syllabus.shonan-it.ac.jp/>

<教員の養成に係る授業科目の構成等>

次ページ以降に掲載（2025年度学生便覧、2025年度工学研究科要覧より抜粋）

# 教職課程

## 教職課程の理念と目的、本学がめざす教師像

本学のディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシーに基づき、工科系単科大学の特性を活かし、各学科のカリキュラムを通じて技術科教育、工業科教育、数学科教育、及び情報科教育の振興のために教職課程を設けています。

教職課程の理念として「幅広い教養を基礎とした教育に対する深い認識と教科に関する工学的な知識・技能を身につける」「教育に対する情熱と教職に対する真摯な使命感といった教員に求められる人格を形成する」「次世代への科学継承を担うことで将来の日本の科学技術を支える人材を育成する」「優れた教育技術とともに豊かな人間性を併せ持った教員を養成する」ことを掲げています。

上述のような理念に基づき、本学の教職課程は、次のような教員の養成を目的としています。

- 人格的な資質と情熱を持った教員
- 教員としての専門性に立脚しつつ、生徒の側に立った教育実践を担う教員
- 自己研鑽に取り組む教員
- 科学技術の継承を担う責任感を持った教員

## 教職課程の概要

教職課程は、「教育職員免許状」（以降「教員免許状」と略す）を取得するために設けられている課程です。各々の学科に応じて異なる学校種・教科の教員免許状を取得することができます。いずれかの学科に在籍し、教職課程に登録した上で、各学科の授業科目と並行して教職課程の所定の科目の単位を修得すれば、卒業時に「教員免許状」が与えられます。中学校・高等学校の教員になることを希望する人は、この課程を履修し「教員免許状」を取得しておくことが必要です。

教職課程に登録を希望する人は、学期ごとに行う教職課程ガイダンス（4月・9月）に毎回参加してください。オリエンテーションを受けて、教職カルテ（学習の成果資料を体系的に整理して記録するファイル）を作成する必要があります。なお、教職課程は、原則として1年次前学期から履修を開始してください。

教職課程の所定の科目の単位は、教育職員免許法及び同施行規則の定めにしたがって区分されており、それぞれ必要な単位を修得しなければなりません（次ページ以降を参照）。

本学には教職センターが設置されており、教職課程の運営を担っています。教職課程の学生の学習支援や就職支援も行っています。

## 本学で取得できる教育職員免許状

### 1. 本学の教職課程で取得できる教員免許状及び免許教科の種類 .....

学 部	学 科	免 許 状 名	教 科 名
工 学 部	機械工学科	中学校教諭 1 種免許状	技 術 数 学
		高等学校教諭 1 種免許状	工 業 数 学
	電気電子工学科	中学校教諭 1 種免許状	技 術 数 学
		高等学校教諭 1 種免許状	工 業 数 学
	総合デザイン学科	中学校教諭 1 種免許状	技 術
		高等学校教諭 1 種免許状	工 業
	人間環境学科	中学校教諭 1 種免許状	技 術
		高等学校教諭 1 種免許状	工 業
情 報 学 部	情 報 学 科	中学校教諭 1 種免許状	数 学
		高等学校教諭 1 種免許状	数 学 情 報

※教員として就職する場合は、「技術」と「工業」、「数学」と「情報」等、複数の免許取得を推奨しています。

### 2. 教員免許状の種類と所要資格、ならびに最低修得単位数 .....

表 1

免 許 状 の 種 類	基礎 資格	最 低 修 得 单 位 数 <sup>*注1</sup>						合 計
		教育の基礎的な理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	各教科の指導法	
中学校教諭 1 種免許状（技術）	学士	10	10	7	20	8	4	59
中学校教諭 1 種免許状（数学）	学士	10	10	7	20	8	4	59
高等学校教諭 1 種免許状（工業）	学士	10	8	5	20	4	12	59
高等学校教諭 1 種免許状（数学）	学士	10	8	5	20	4	12	59
高等学校教諭 1 種免許状（情報）	学士	10	8	5	20	4	12	59

\*注 1 日本国憲法を含む「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」(P.89 表 3) は免許取得上必修です。

また、本表に示す単位数は教育職員免許法に定める最低修得単位数です。本学の規定（文部科学省による課程認定）に基づき修得要件（単位数）が別途定められています。（次ページ以降を参照）

\*注 2 大学が独自に設定する科目的単位数には、本表の他の科目について最低修得単位数を超えて修得した単位が計上されます。

## 1)中学校教諭1種免許状取得要件

### (1)技術の場合（工学部 全学科）

- ①「共通科目」については、表2（P.89）に示す修得条件（「大学が独自に設定する科目」を除く）に基づき、合計30単位以上を修得すること。
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」については、学科ごとに異なる修得条件に従い、合計28単位以上修得すること。
  - 工学部 機械工学科……………表4（P.90）
  - 工学部 電気電子工学科……………表7（P.93）
  - 工学部 総合デザイン学科……………表10（P.96）
  - 工学部 人間環境学科……………表12（P.98）
- ③「大学が独自に設定する科目」については、表2の最下段に示す科目のほか、①及び②で法令上の最低修得単位数（P.84表1）を超えて修得した単位数も計上が可能である。そのため、①②③合計で59単位以上を修得すればよい。
- ④「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」（P.89表3）については、日本国憲法を含む必修科目10単位を修得すること。

### (2)数学の場合（工学部 機械工学科、電気電子工学科 及び 情報学部 情報学科）

- ①「共通科目」については、表2（P.89）に示す修得条件（「大学が独自に設定する科目」を除く）に基づき、合計30単位以上を修得すること。
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」については、学科ごとに異なる修得条件に従い、合計28単位以上修得すること。
  - 工学部 機械工学科……………表6（P.92）
  - 工学部 電気電子工学科……………表9（P.95）
  - 情報学部 情報学科……………表14（P.100）
- ③「大学が独自に設定する科目」については、表2の最下段に示す科目のほか、①及び②で法令上の最低修得単位数（P.82表1）を超えて修得した単位数も計上が可能である。そのため、①②③合計で59単位以上を修得すればよい。
- ④「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」（P.89表3）については、日本国憲法を含む必修科目（工学部は10単位、情報学部は12単位）を修得すること。

### (3)介護等体験の義務（中学校教員免許状の取得希望者は全員が対象）

個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性に鑑み、教員の資質向上及び、学校教育の一層の充実を図る観点から、中学校教員免許状の取得希望者には介護等の体験が義務付けられています。

中学校教員免許状の取得希望者は、文部科学省が定める社会福祉施設等と特別支援学校、あわせて7日以上の介護等体験に参加し、教員免許状申請時にこれらの体験に関する証明書を提出しなければなりません。本学においては、介護等体験を原則2年次で実施しており、希望者は必ず介護等体験のガイダンス、事前指導・事後指導等を受ける必要があります。なお、社会福祉施設等の実習においては必要経費の徴収があります。

介護等体験終了後には、実習先から介護等体験証明書が発行されますが、この証明書は教育委員会への教員免許状の授与申請（一括申請：後述）に必要な書類となりますので、免許状の申請が終了するまで教務課にて保管をいたします。個人で免許申請を行うなど、介護等体験証明書が必要となった場合には、教務課に相談をしてください。

## 2)高等学校教諭1種免許状取得要件

### (1)工業の場合(工学部 全学科)

- ①「共通科目」については、表2(P.89)に示す修得条件(「大学が独自に設定する科目」を除く)に基づき、合計26単位以上を修得すること。
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」については、学科ごとに異なる修得条件に従い、合計24単位以上修得すること。
  - 工学部 機械工学科……………表5 (P.91)
  - 工学部 電気電子工学科……………表8 (P.94)
  - 工学部 総合デザイン学科……………表11 (P.97)
  - 工学部 人間環境学科……………表13 (P.99)
- ③「大学が独自に設定する科目」については、表2の最下段に示す科目のほか、①及び②で法令上の最低修得単位数(P.84表1)を超えて修得した単位数も計上が可能である。そのため、①②③合計で59単位以上を修得すればよい。
- ④「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」(P.99表3)については、日本国憲法を含む必修科目10単位を修得すること。

### (2)数学の場合(工学部 機械工学科、電気電子工学科 及び 情報学部 情報学科)

- ①「共通科目」については、表2(P.79)に示す修得条件(「大学が独自に設定する科目」を除く)に基づき、合計26単位以上を修得すること。
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」については、学科ごとに異なる修得条件に従い、合計28単位以上修得すること。
  - 工学部 機械工学科……………表6 (P.92)
  - 工学部 電気電子工学科……………表9 (P.95)
  - 情報学部 情報学科……………表14 (P.100)
- ③「大学が独自に設定する科目」については、表2の最下段に示す科目のほか、①及び②で法令上の最低修得単位数(P.84表1)を超えて修得した単位数も計上が可能である。そのため、①②③合計で59単位以上を修得すればよい。
- ④「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」(P.89表3)については、日本国憲法を含む必修科目(工学部は10単位、情報学部は12単位)を修得すること。

### (3)情報の場合(情報学部 情報学科)

- ①「共通科目」については、表2(P.89)に示す修得条件(「大学が独自に設定する科目」を除く)に基づき、合計26単位以上を修得すること。
- ②「教科及び教科の指導法に関する科目」については、表15(P.101)の修得条件に従い、合計24単位以上修得すること。
  - 情報学部 情報学科……………表15 (P.101)
- ③「大学が独自に設定する科目」については、表2の最下段に示す科目のほか、①及び②で法令上の最低修得単位数(P.84表1)を超えて修得した単位数も計上が可能である。そのため、①②③合計で59単位以上を修得すればよい。
- ④「教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目」(P.89表3)については、日本国憲法を含む必修科目12単位を修得すること。

### 3.留意事項

#### 1)教育実習

教育実習は4年次（卒業見込者のみ）に、中学校または高等学校の教育活動に一定期間参加する現地実習（教科指導及び生徒指導等）です。実習生に求められる見識や態度を事前に身に付けていることが必要であり、実習期間中は、将来教壇に立つ者として責任と誠意のある実習態度が求められます。

##### (1)手続き

本学の教職課程では、教育実習に参加するための要件（実習受け入れ依頼を行うに際し、一定の基準が満たされていることを条件とします）を設けています。2年次終了時に参加要件を満たした者は、3年次に実習校へ教育実習の申し込みを行い、内諾が得られた後、学長名で正式に1年後の教育実習の依頼を行います。そして4年次に教育実習に参加することになります。なお、内諾を得た後は、自己都合による教育実習の取り消し・実習期間の変更等はできません。

##### (2)教育実習校

教育実習校は、①連携協定が結ばれている公立の教育委員会等に申請した上で決定する場合と、②実習を希望する公立または私立学校で、個人交渉により決定する場合があります。特に、東京都の公立学校、横浜市立学校で実習を希望する場合は、教職担当教員に申し出てください。

#### 2)教員免許状の交付等

##### (1)申請方法

教員免許状の授与権者は、各都道府県の教育委員会になります。（教育職員免許法第5条第7項）  
教員免許状の授与申請の方法には、次の2種類があります。

###### ①一括申請

卒業と同時に教員免許状の授与が受けられる見込みの場合、教務課でその事務を代行し、一括申請を行います。

###### ②個人申請

何らかの事情により一括申請の対象とならない場合、卒業後（原則4月以降）、各都道府県の教育委員会に個人で直接申請し、教員免許状の交付を受けます。

##### (2)一括申請の場合の手続き

教務課の案内に従い、「教育職員普通免許状授与申請書（一括申請用）」を提出し、下表に示す神奈川県が定める一括申請手数料を納入してください。その後、神奈川県教育委員会による一括審査が行われ、合格した人には、卒業式当日に教員免許状が交付されます。

免許状	教科	免許状の申請に必要な手数料
中学校教諭1種免許状	技術	免許種・教科ごとに 3,300円
	数学	
高等学校教諭1種免許状	工業	免許種・教科ごとに 3,300円
	数学	
	情報	

##### (3)教育職員免許状取得見込証明書

教員採用試験を受験する際に必要な証明書であり、卒業年度（4年次）にのみ申請・発行が可能です。  
学生課横の証明書自動発行機を使用して学生課に申請してください。

#### (4) 教育職員免許状授与（交付）証明書

卒業後に教育職員免許状授与（交付）証明書が必要になった際は、教員免許状を発行した教育委員会（授与権者）に証明書の発行を請求してください。なお、教員免許状を紛失した場合には原則として再交付を受けることはできませんので注意してください。

## 4. 共通科目 修得一覧表

表2

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		必要単位数 *注1	授業科目 (特に記載のないものはすべて必修)	単位数	年次・ 学期 *注2
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	12	教育原理	2	1後
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職入門	2	1前
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論 教育関係法規（選択）	2 2	2後 3後
	・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理	2	1前
	・特別の支援を必要とする児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	2	2前
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2	3前
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法（中学）	中学 10 ・ 高校 8	道徳教育の指導法（中学免許のみ対象）	2	3後
	・総合的な学習の時間の指導法（中学）		特別活動及び総合的な学習の指導法	2	3前
	・総合的な探究の時間の指導法（高校）		教育方法（ICTの活用を含む）	2	1後
	・特別活動の指導法		生徒指導及び進路指導	2	3後
	・教育の方法及び技術		教育相談	2	3前
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
教育実践に関する科目	・生徒指導の理論及び方法	中学 8 ・ 高校 6			
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法				
	・教育実習		教育実習ゼミ1 教育実習ゼミ2 教育実習1 教育実習2（中学免許のみ対象）	1 1 2 2	3後 4前 4前・後 4前・後
大学が独自に設定する科目	・教職実践演習	中学 4 ・ 高校 12	教職実践演習（中・高）	2	4後
			学校インターンシップ（選択） 道徳教育の指導法（選択）（高校免許のみ対象）	1 2	2後 3後

\*注1 本学の規定により必要な単位数。教育職員免許法及び同施行規則の法令要件を超えて修得した単位は、大学が独自に設定する科目の単位数に計上されます。（P.84～86 参照）

\*注2 時間割編成の都合上、開講年次・学期は本表と異なる場合があります。

### 教育職員免許法施行規則 第66条の6に定める科目

表3

教育職員免許法施行規則に規定する科目	必要単位数	授業科目 (所属学部の科目については、免許取得上すべて必修)	単位数	年次・学期
日本国憲法	2	（工学部・情報学部共通）日本国憲法	2	2前 or 2後
体育	2	（工学部）スポーツ基礎A、スポーツ基礎B	各1	1前・1後
	4	（情報学部）スポーツで健康を科学する、スポーツで健康をデザインする	各2	2前・2後
外国語コミュニケーション	4	（工学部）英語コミュニケーション1、英語コミュニケーション2	各2	2前・2後
		（情報学部）英語総合基礎、英語総合発展	各2	1前・1後
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は情報機器の操作	2	（工学部）コンピュータリテラシ基礎、コンピュータリテラシ応用	各1	1前・1後
		（情報学部）プログラミング基礎	2	1前

## 5.教科及び教科の指導法に関する科目修得一覧表.....

工学部 機械工学科 中学校 1種免許状（技術）

表4

教育職員免許法施行規則に 定める科目区分等	授業科目	単位数	中学1種
			必選別
材料加工 (実習を含む。)	木材加工	2	必修
	金属加工	2	
	木材加工実習	1	
	機械加工	2	
	先端加工	2	
機械・電気 (実習を含む。)	工作実習1	②	必修
	工作実習2	②	
	電気実習	2	
	機械工学入門	2	
	材料科学1	②	
	メカトロニクス入門	2	
	材料力学基礎	2	
	基礎実験	②	
	材料力学1	②	
	材料科学2	2	
	工業熱力学1	2	
	流体力学1	2	
	機械力学1	2	
	計測制御1	2	
	材料力学2	2	
	流体力学2	2	
	工業熱力学2	2	
	機械設計法	2	
	自動車工学	2	
生物育成	機械力学2	2	選択
	計測制御2	2	
	先端材料	2	
	伝熱工学	2	
	メカトロニクス	2	
	流体機械	2	
	栽培	1	
	栽培実習	1	
情報とコンピュータ	コンピュータリテラシ発展 [工学部 社会人基礎科目]	2	必修
	機械工学プロジェクト発展A	2	選択
	アルゴリズムとデータ構造実習 [情報学部 情報学科]	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	技術科教育法1	2	必修
	技術科教育法2	2	
	技術科教材研究1	2	
	技術科教材研究2	2	

※[ ]は共通開設科目もしくは他学科の専門科目を表します。

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭1種免許状取得要件」(P.85)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	高校1種
			必選別
教科に関する専門的事項  工業の関係科目	工業概論	2	必修
	工業数学・力学1	(4)	
	工業数学・力学2	(2)	
	機械設計法	2	
	エンジニアリング基礎	(2)	
	工作実習1	(2)	
	3次元CAD	(2)	
	工作実習2	(2)	
	材料科学1	(2)	
	メカトロニクス入門	2	
	機械工学入門	2	
	流体・工業熱力学基礎	2	
	材料力学基礎	2	
	機械力学・計測制御基礎	2	
	機械設計製図1	(2)	
	基礎実験	(2)	
	材料力学1	(2)	
	機械設計製図2	(2)	
	機械実験	(2)	
	材料科学2	2	
	工業熱力学1	2	
	流体力学1	2	
	機械加工	2	
	機械力学1	2	
	計測制御1	2	
	材料力学2	2	
	流体力学2	2	
	工業熱力学2	2	
	CAD応用	2	
	機械力学2	2	選択
	計測制御2	2	
	自動車工学	2	
	先端加工	2	
	生産システム	2	
	先端材料	2	
	伝熱工学	2	
	メカトロニクス	2	
	流体機械	2	
	職業指導1	2	
職業指導	職業指導2	2	必修
	各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	2	必修
	工業科教育法1	2	
	工業科教育法2	2	

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「高等学校教諭1種免許状取得要件」(P.86)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	中学1種	高校1種
			必選別	必選別
教科に関する専門的事項	代 数 学	線形代数1	2	必修
		線形代数2	2	
		代数学	2	選択
		数値計算法	2	
	幾何学	平面と空間の幾何学	2	必修
		幾何学1	2	
		幾何学2	2	選択
		基礎製図	(2)	
教科に関する専門的事項	解 析 学	微分積分学1	2	必修
		微分積分学2	2	
		フーリエ解析	2	選択
		ベクトル解析	2	
		複素関数論	2	
	「確率論、統計学」	応用数学	2	選択
		確率・統計1	2	
		確率・統計2	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	コンピュータ	社会とコンピュータ【工学部 社会人基礎科目】	2	必修
		コンピュータのしくみ【工学部 社会人基礎科目】	2	選択
		数値計算プログラミング【情報学部 情報学科】	2	
		会計データ処理1【情報学部 情報学科】	2	
		数学科教育法1	2	必修
		数学科教育法2	2	
		数学科教材研究1	2	
		数学科教材研究2	2	

※〔 〕は共通開設科目もしくは他学科の専門科目を表します。

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭1種免許状取得要件」(P.85)、「高等学校教諭1種免許状取得要件」(P.86)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単位数	中学 1 種
			必選別
材料加工 (実習を含む。)	木材加工	2	必修
	金属加工	2	
	木材加工実習	1	選択
	機械加工 [工学部 機械工学科]	2	
	先端加工 [工学部 機械工学科]	2	
機械・電気 (実習を含む。)	電気回路 1	(2)	必修
	電気回路 2	(2)	
	電気基礎実験 1	(2)	
	工作実習	2	
	電気計測 1	(2)	選択
	電気計測 2	(2)	
	交流電気回路	2	
	電気機器工学	2	
	発変電工学	2	
	通信工学 1	2	
	電子回路 1	2	
	電気・電子材料	2	
	電気応用	2	
	通信工学 2	2	
	電子回路 2	2	
	電気法規及び施設管理	2	
	電気基礎実験 2	(2)	
生物育成	電子工学実験	2	必修
	電気工学実験	2	
	メカトロニクス入門 [工学部 機械工学科]	2	選択
	自動車工学 [工学部 機械工学科]	2	
情報とコンピュータ	栽培	1	必修
	栽培実習	1	
	プログラミング	2	必修
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	コンピュータ工学	2	選択
	情報通信工学特論	2	
	技術科教育法 1	2	必修
	技術科教育法 2	2	
	技術科教材研究 1	2	
	技術科教材研究 2	2	

※[ ]は共通開設科目もしくは他学科の専門科目を表します。  
※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭 1 種免許状取得要件」(P.85) を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	高校1種
			必選別
教科に関する専門的事項	工業概論	2	必修
	電気回路1	(2)	
	電気回路2	(2)	
	電気計測1	(2)	
	電気計測2	(2)	
	プログラミング	2	
	交流電気回路	2	
	自動制御1	2	
	自動制御2	2	
	電気機器工学	2	
	発変電工学	2	
	送配電工学1	2	
	通信工学1	2	
	コンピュータ工学	2	
	電子回路1	2	
	半導体工学1	2	
	電気・電子材料	2	
	電気応用	2	
	電波とアンテナ	2	
	パワーエレクトロニクス	2	
	送配電工学2	2	
	通信工学2	2	
	電子回路2	2	
	半導体工学2	2	
	高周波電磁気学	2	
	情報通信工学特論	2	選択
	電波法及び電気通信法	2	
	電気法規及び施設管理	2	
	電気設計及び製図	2	
	電子工学実験	2	
	電気工学実験	2	
職業指導	職業指導1	2	必修
	職業指導2	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	工業科教育法1	2	必修
	工業科教育法2	2	

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「高等学校教諭1種免許状取得要件」(P.86)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授 業 科 目	単位数	中学 1 種	高校 1 種	
				必選別	必選別	
教科に関する専門的事項	代 数 学	線形代数 1	2	必修	必修	
		線形代数 2	2			
		代数学	2	選択	選択	
	幾 何 学	平面と空間の幾何学	2	必修	必修	
		幾何学 1	2			
		幾何学 2	2	選択	選択	
	解 析 学	微分積分学 1	2	必修	必修	
		微分積分学 2	2			
		電気数学 1	(2)			
		微分方程式	2	選択	選択	
		フーリエ解析	2			
		ベクトル解析	2			
「確率論、統計学」	複素関数論	複素関数論	2	必修	必修	
		電気応用数学	2			
	確率・統計 1	確率・統計 1	2	必修	必修	
		確率・統計 2	2			
コンピュータ	コンピュータ	社会とコンピュータ [工学部 社会人基礎科目]	2	必修	必修	
		情報通信理論 1	2	選択	選択	
		情報通信理論 2	2			
		コンピュータのしくみ [工学部 社会人基礎科目]	2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育法 1	2	必修	必修	
		数学科教育法 2	2			
		数学科教材研究 1	2			
		数学科教材研究 2	2			

※[ ]は共通開設科目もしくは他学科の専門科目を表します。

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭 1種免許状取得要件」(P.85)、「高等学校教諭 1種免許状取得要件」(P.88) を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		授業科目	単位数	中学1種 必選別	
教科に関する専門的事項	材料加工 (実習を含む。)	木材加工	2	必修	
		金属加工	2		
		木材加工実習	1	選択	
		工業材料	2		
	機械・電気 (実習を含む。)	モノづくり実習	2	必修	
		エレクトロニクス	2		
		工学リテラシー	(2)	選択	
		製図基礎	(2)		
		3次元CAD基礎	(2)		
		機構デザイン	2		
		メカトロニクス基礎	2		
		3次元CAD応用	2		
		センシングとモーション	2		
		材料力学	2		
		メカトロニクス応用	2		
		2次元CAD	2		
		CAD発展	2		
		プロダクトデザイン	2		
		設計工学	2		
		CAD演習	2		
		モビリティデザイン	2		
	生物育成	総合デザインプロジェクト2A	(4)	必修	
		総合デザインプロジェクト2B	(4)		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	栽培	栽培	1	必修	
		栽培実習	1		
	情報とコンピュータ	デザインプログラミング	(2)	必修	
		イメージプロセッシング	2	選択	
		技術科教育法1	2	必修	
		技術科教育法2	2		
		技術科教材研究1	2		
		技術科教材研究2	2		

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭1種免許状取得要件」(P.85)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	高校1種
			必選別
教科に関する専門的事項	工業概論	2	必修
	工学リテラシー	(2)	
	製図基礎	(2)	
	デザイン表現基礎 1	(2)	
	デザインプログラミング	(2)	
	デザイン表現基礎 2	(2)	
	モノづくり実習	2	
	3次元CAD基礎	(2)	
	エレクトロニクス	2	
	デザイン表現 1	2	
	機構デザイン	2	
	イメージプロセッシング	2	
	メカトロニクス基礎	2	
	工業材料	2	
	3次元CAD応用	2	
	デザイン表現 2	2	
	センシングとモーション	2	
	材料力学	2	
	メカトロニクス応用	2	
	2次元CAD	2	
	CAD発展	2	選択
	プロダクトデザイン	2	
	設計工学	2	
	CAD演習	2	
	モビリティデザイン	2	
	ランドスケープデザイン	2	
	総合デザインプロジェクト 1 A	(4)	
	総合デザインプロジェクト 1 B	(4)	
職業指導	職業指導 1	2	必修
	職業指導 2	2	
(情報通信技術の活用を含む。)	各教科の指導法	工業科教育法 1	必修
		工業科教育法 2	

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「高等学校教諭 1種免許状取得要件」(P.86) を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	中学1種
			必選別
材料加工 (実習を含む。)	木材加工	2	必修 選択
	金属加工	2	
	木材加工実習	1	
	無機化学	(2)	
	固体物性	(2)	
	構造設計	(2)	
	応用物理化学	2	
	工作実習	2	
	電気実習	2	
	電気・電子工学	(2)	
機械・電気 (実習を含む。)	工業基礎力学	(2)	必修 選択
	電気計測工学	(2)	
	環境・エネルギー工学	(2)	
	化学工学	2	
	構造材料	2	
	スポーツ用具作成 A	4	
	スポーツ用具作成 B	4	
	自動車工学【工学部 機械工学科】	2	
	電気回路 1【工学部 電気電子工学科】	2	
	電気の物理 1【工学部 電気電子工学科】	2	
生物育成	栽培	1	必修
	栽培実習	1	
情報とコンピュータ	データ解析法	(2)	必修
	I T 演習基礎 1【情報学部 情報学科】	2	
	病院情報論	2	選択
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	技術科教育法 1	2	必修
	技術科教育法 2	2	
	技術科教材研究 1	2	
	技術科教材研究 2	2	

※〔 〕は共通開設科目もしくは他学科の専門科目を表します。  
 ※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭 1種免許状取得要件」(P.85) を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授 業 科 目	単位数	高校 1 種
			必選別
教科に関する専門的事項	工業概論	2	必修
	人間環境学実験 1	(2)	
	人間環境学実験 2	(2)	
	人間環境学実験 3	(2)	
	人間環境学実験 4	(2)	
	人間環境学実験 5	(2)	
	数理基礎	(2)	
	データ解析法	(2)	
	電気・電子工学	(2)	
	有機化学	(2)	
	工業基礎力学	(2)	
	電気計測工学	(2)	
	固体物性	(2)	
	構造設計	(2)	
	環境・エネルギー工学	(2)	
	危険物の取り扱い	2	
	環境技術論	2	
	医用機器概論	2	
	化学工学	2	
職 業 指 導	機器分析	2	選択
	構造材料	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	人工臓器概論	2	選択
	機能材料	2	
	応用物理化学	2	
	職業指導 1	2	
	職業指導 2	2	
	工業科教育法 1	2	必修
	工業科教育法 2	2	

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「高等学校教諭 1 種免許状取得要件」(P.86) を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	中学1種	高校1種		
			必選別	必選別		
教科に関する専門的事項	代 数 学	プログラミングのための基礎数学	(2)	必修	必修	
		線形代数	2			
		プログラミングのための線形代数1	2			
		離散数学	2	選択	選択	
		プログラミングのための線形代数2	2			
		代数学	2			
	幾何学	平面と空間の幾何学	2	必修	必修	
		幾何学1	2			
		幾何学2	2	選択	選択	
		コンピュータグラフィックス入門実習	2			
		コンピュータグラフィックス	2			
	解析学	微分積分学	2	必修	必修	
		プログラミングのための微分積分学1	2			
		プログラミングのための微分積分学2	2	選択	選択	
		多変量解析入門	2			
		画像・信号処理の数学	2			
	「確率論、統計学」	確率統計リテラシ1	2	必修	必修	
		確率統計リテラシ2	2			
		データサイエンス入門2	(2)	選択	選択	
		データサイエンス実践	2			
	コンピュータ	プログラミング基礎	(2)	必修	必修	
		コンピュータシステム入門	(2)	選択	選択	
		データサイエンス入門1	(2)			
		数値計算プログラミング	2			
		最適化数学	2			
		コンピューターアーキテクチャ	2			
		会計データ処理1	2			
		会計データ処理2	2			
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		数学科教育法1	2	必修	必修	
		数学科教育法2	2			
		数学科教材研究1	2			
		数学科教材研究2	2			

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「中学校教諭1種免許状取得要件」(P.85)、「高等学校教諭1種免許状取得要件」(P.88)を参照して、必要な単位数を取得すること。

教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	授業科目	単位数	高校 1種	
			必選別	
教科に関する専門的事項	情報社会（職業に関する内容を含む。） ・情報倫理	情報倫理 情報と職業 データサイエンス入門 1 暗号とセキュリティ	(2) 2 (2) 2	
	コンピュータ・情報処理	プログラミング基礎 プログラミング実習 データサイエンス実践 アルゴリズムとデータ構造実習 コンパイラ	(2) (2) 2 2 2	
		ゲームプログラミング	2	
	情報システム	コンピュータシステム入門 オブジェクト指向プログラミング実習 データベース オペレーティングシステム実習 ソフトウェア工学	(2) (2) 2 2 2	
		ネットワークアーキテクチャ 通信プログラミング実習 情報理論	2 2 2	
	マルチメディア表現・ マルチメディア技術	コンピュータグラフィックス 教育情報システム開発実習 プログラミングリテラシー 教育情報工学	2 2 2 2	
		メディアインタラクション	2	
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)		情報科教育法 1 情報科教育法 2	2 2	
			必修	

※○のついた数字は学科の卒業要件上の必修科目を表します。

「高等学校教諭 1種免許状取得要件」(P.86) を参照して、必要な単位数を取得すること。

## 教職科目教育課程表（教科に関する科目を除く）

(全学部共通)

区分	分野	授業科目の名称	各年次週授業時間数								単位数		備考	
			1		2		3		4		必修	選択		
			前	後	前	後	前	後	前	後				
教職科目	教職専門科目	教職入門	2								2		☆ 注1を参照 ◇ 注2を参照 ★ 注3を参照 ◆ 注4を参照	
		教育心理	2								2			
		教育原理		2							2			
		教育方法(ICTの活用を含む)		2							2			
		特別支援教育			2						2			
		教育制度論				2					2			
		学校インターナンシップ				*						1		
		教育課程論					2				2			
		特別活動及び総合的な学習の指導法					2				2			
		教育相談					2				2			
		教育関係法規						2				2		
		道徳教育の指導法						2				2		
		生徒指導及び進路指導						2				2		
		教育実習ゼミ1						2				1		
		教育実習ゼミ2							2			1		
		教育実習1							*			2		
		教育実習2							*			2		
		教職実践演習(中・高)								2	2			
		技術科教育法1			2						2			
		技術科教育法2				2					2			
		技術科教材研究1					2				2			
		技術科教材研究2						2			2			
		数学科教育法1			2						2			
		数学科教育法2				2					2			
		数学科教材研究1						2			2			
		数学科教材研究2							2		2			
		工業科教育法1			2						2			
		工業科教育法2				2					2			
		情報科教育法1				2					2			
		情報科教育法2					2				2			

注1 ☆の科目は集中開講の授業として合計 30 時間以上実施する。なお、実施の詳細については別に定める。

注2 ◇に示す科目については、中学校の免許取得希望者は必修

注3 ★の科目は集中開講の授業として合計 60 時間以上実施する。なお、実施の詳細については別に定める。

注4 ◆に示す科目については、当該教科の免許取得希望者は必修

### 3 教職課程

#### (1) 教職課程について

本学では、大学院博士前期課程において教員の資格を得るための教職課程を設けています。

本大学院において取得可能な教育職員免許状の種類は、次表のとおりです。

専攻名	免許状の種類
機械工学専攻	高等学校教諭 専修免許状（工業）
電気情報工学専攻	高等学校教諭 専修免許状（工業）

「高等学校教諭 専修免許状（工業）」を取得するには、「高等学校教諭 1種免許状（工業）」の取得者または取得見込者である必要があります。また、「専修免許状（工業）」を取得するための授業科目については、次頁に示す別表「高等学校教諭専修免許状（工業）大学が独自に設定する科目」の一覧表から24単位以上を修得しなければなりません。

上記の方（「高等学校教諭 1種免許状（工業）」の取得者または取得見込者）以外は、別途、高等学校教諭 1種免許状（工業）の取得に必要な科目を修得する必要があります。

免許状の取得を希望される方は、事前に教務課にご相談ください。

なお、最終的に免許を申請される際は、各都道府県の教育委員会に直接申請していただきます。

## (2) 高等学校教諭 専修免許状（工業） 大学が独自に設定する科目

### 機械工学専攻（別表①）

科目区分	科目名	配当年次	単位数	必選の別	学期	
					前学期	後学期
大学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	アカデミック英語	1	②	選択	○	
	技術英語	1	2			○
	データサイエンス概論	1	②		○	
	エンジニアリングキャリアプランM 1	1	②		○ (通年)	
	エンジニアリングキャリアプランM 2	2	②		○ (通年)	
	材料工学基礎	1	2		○	
	エネルギー工学基礎	1	2			○
	設計工学基礎	1	2			○
	数値計算工学基礎	1	2		○	
	製造工学特論	1・2	2			○
	材料力学特論	1・2	2			○
	流体・伝熱工学特論	1・2	2		○	
	機械力学・ロボット工学特論	1・2	2			○
	制御工学特論	1・2	2		○	
	生体機械工学特論	1・2	2		○	
	プロダクトデザイン特論	1・2	2			○

※○のついた数字は専攻の修了要件上の必修科目を表します。

### 電気情報工学専攻（別表②）

科目区分	科目名	配当年次	単位数	必選の別	学期	
					前学期	後学期
大学 が 独 自 に 設 定 す る 科 目	アカデミック英語	1	②	選択	○	
	技術英語	1	2			○
	データサイエンス概論	1	②		○	
	エンジニアリングキャリアプランM 1	1	②		○ (通年)	
	エンジニアリングキャリアプランM 2	2	②		○ (通年)	
	ソフトウェア基礎	1	2		○	
	ハードウェア基礎	1	2			○
	情報工学基礎	1	2		○	
	情報処理応用基礎	1	2			○
	電力工学特論	1・2	2		○	
	通信工学特論	1・2	2			○
	情報制御工学特論	1・2	2			○
	電子デバイス特論	1・2	2		○	
	電子情報材料特論	1・2	2			○
	クラウド・量子コンピューティング特論	1・2	2		○	
	人工知能特論	1・2	2			○

※○のついた数字は専攻の修了要件上の必修科目を表します。

#### 4. 卒業者の教員免許状の取得の状況（令和2年度実績）

##### ◎学部

	中学校一種		高等学校一種			授与 合計	取得 人数
	数学	技術	数学	工業	情報		
機械工学科	—	1	—	2		3 件	2 名
電気電子 工学科	1	1	1	—		3 件	1 名
情報工学科	4	3	4	—	4	15 件	4 名
コンピュータ 応用学科				—	—	0 件	0 名
総合デザイン 学科		1		1		2 件	1 名
人間環境学科		2		—		2 件	2 名
合 計	5 件	8 件	5 件	3 件	4 件	25 件	10 名

##### ◎大学院

	高等学校専修	授与 合計	取得 人数
	工業		
機械工学専攻	—	0 件	0 名
電気情報工学専攻	—	0 件	0 名
合 計	0 件	0 件	0 名

#### 4. 卒業者の教員免許状の取得の状況（令和3年度実績）

##### ◎学部

	中学校一種		高等学校一種			授与 合計	取得 人数
	数学	技術	数学	工業	情報		
機械工学科	3	4	3	1		11 件	5 名
電気電子 工学科	2	3	2	1		8 件	3 名
情報工学科	3	5	3	1	6	18 件	7 名
コンピュータ 応用学科				—	—	0 件	0 名
総合デザイン 学科		3		2		5 件	4 名
人間環境学科		2		1		3 件	2 名
合 計	8 件	17 件	8 件	6 件	6 件	45 件	21 名

##### ◎大学院

	高等学校専修	授与 合計	取得 人数
	工業		
機械工学専攻	—	0 件	0 名
電気情報工学専攻	—	0 件	0 名
合 計	0 件	0 件	0 名

#### 4. 卒業者の教員免許状の取得の状況（令和4年度実績）

##### ◎学部

	中学校一種		高等学校一種			授与 合計	取得 人数
	数学	技術	数学	工業	情報		
機械工学科	2	4	2	1		9件	4名
電気電子 工学科	3	2	3	—		8件	4名
情報工学科	7	8	7	1	8	31件	12名
コンピュータ 応用学科				—	—	0件	0名
総合デザイン 学科		—		—		0件	0名
人間環境学科		—		1		1件	1名
合 計	12件	14件	12件	3件	8件	49件	21名

##### ◎大学院

	高等学校専修	授与 合計	取得 人数
	工業		
機械工学専攻	1	1件	1名
電気情報工学専攻	—	0件	0名
合 計	1件	1件	1名

#### 4. 卒業者の教員免許状の取得の状況（令和5年度実績）

##### ◎学部

	中学校一種		高等学校一種			授与 合計	取得 人数
	数学	技術	数学	工業	情報		
機械工学科	2	2	3	2		9件	6名
電気電子 工学科	1	1	1	—		3件	1名
情報工学科	5	11	5	2	7	30件	12名
コンピュータ 応用学科				—	1	1件	1名
総合デザイン 学科		3		2		5件	4名
人間環境学科		1		1		2件	1名
合 計	8件	18件	9件	7件	8件	50件	25名

##### ◎大学院

	高等学校専修	授与 合計	取得 人数
	工業		
機械工学専攻	0	0件	0名
電気情報工学専攻	—	0件	0名
合 計	0件	0件	0名

#### 4. 卒業者の教員免許状の取得の状況（令和6年度実績）

##### ◎学部

	中学校一種		高等学校一種			授与 合計	取得 人数
	数学	技術	数学	工業	情報		
機械工学科	1	4	1	1		7件	4名
電気電子 工学科	—	5	—	4		9件	5名
情報工学科	5	5	5	3	5	23件	7名
コンピュータ 応用学科				—	—	0件	0名
総合デザイン 学科		1		1		2件	2名
人間環境学科		2		1		3件	2名
合 計	6件	17件	6件	10件	5件	44件	20名

##### ◎大学院

	高等学校専修	授与 合計	取得 人数
	工業		
機械工学専攻	—	0件	0名
電気情報工学専攻	—	0件	0名
合 計	0件	0件	0名

## 5. 卒業者の教員への就職の状況（令和2年度卒業生実績）

### ◎学部

教 科	就職者	免許取得件数
中学校一種・数学	1名	5件
中学校一種・技術	2名	8件
高等学校一種・数学	—	5件
高等学校一種・工業	—	3件
高等学校一種・情報	—	4件
合 計	3名	25件

### ◎大学院

教 科	就職者	免許取得件数
高等学校専修・工業	—	0件
合 計	0名	0件

## 5. 卒業者の教員への就職の状況（令和3年度卒業生実績）

### ◎学部

教 科	就職者	免許取得件数
中学校一種・数学	一	8 件
中学校一種・技術	5 名	17 件
高等学校一種・数学	1 名	8 件
高等学校一種・工業	一	6 件
高等学校一種・情報	一	6 件
合 計	6 名	45 件

### ◎大学院

教 科	就職者	免許取得件数
高等学校専修・工業	一	0 件
合 計	0 名	0 件

## 5. 卒業者の教員への就職の状況（令和4年度卒業生実績）

### ◎学部

教 科	就職者	免許取得件数
中学校一種・数学	1名※	12件
中学校一種・技術	6名	14件
高等学校一種・数学	1名※	12件
高等学校一種・工業	—	3件
高等学校一種・情報	—	8件
合 計	7名	49件

※中高一貫校への就職

### ◎大学院

教 科	就職者	免許取得件数
高等学校専修・工業	1名	1件
合 計	1名	1件

## 5. 卒業者の教員への就職の状況（令和5年度卒業生実績）

### ◎学部

教 科	就職者	免許取得件数
中学校一種・数学	—	8 件
中学校一種・技術	12 名	18 件
高等学校一種・数学	—	9 件
高等学校一種・工業	—	7 件
高等学校一種・情報	—	8 件
合 計	12 名	50 件

### ◎大学院

教 科	就職者	免許取得件数
高等学校専修・工業	—	0 件
合 計	0 名	0 件

## 5. 卒業者の教員への就職の状況（令和6年度卒業生実績）

### ◎学部

教 科	就職者	免許取得件数
中学校一種・数学	—	6 件
中学校一種・技術	9名※	17 件
高等学校一種・数学	1名※	6 件
高等学校一種・工業	—	10 件
高等学校一種・情報	—	5 件
合 計	9名	44 件

※中高一貫校への就職者含む

### ◎大学院

教 科	就職者	免許取得件数
高等学校専修・工業	—	0 件
合 計	0名	0 件

## 6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること

<目標達成のための取り組み>

本学が定めた教員養成の目標を達成するために、以下のような組織的な取り組みを含めた教職指導体制を有し、教職課程の質の向上に取り組んでいる。

### 1. 各学年のカリキュラムに応じた「教職課程ガイダンス」と「教職カルテの作成」の実施

教職課程の概要、4年間の履修内容、取得できる免許状の種類、教職を目指す学生としての心構え、教職に必要な資質等について、毎学期のガイダンスで指導を行い、必要に応じて個人面談を行う。また、各自が教職課程カリキュラム全体の見通しを持って、計画的かつ着実に教員に必要とされる資質・能力を高めることができるように、「教職カルテ」を作成し、各自の目標を設定し達成状況を確認するとともに、学習の履歴についてポートフォリオを作成している。それらの指針となるように、教職課程の「到達目標」を設定し学生に提示している。

### 2. 質の高い「介護等体験」の実施

2年次の中学校教員免許状取得希望者を対象に、「介護等体験」に参加するためのガイダンスを行い、社会福祉施設長、特別支援学校長等による事前指導講座、教職課程担当教員による事後指導の受講を義務づけている。

### 3. 教育実習へ向けての取り組み

3年次は、次年度の教育実習に向けて実習校への依頼・確保を行う。3年次後学期に「教育実習ゼミ1」の受講を義務づけており、少人数制のゼミ形式で模擬授業を行う中で、教科指導のあり方を中心に学ぶ。さらに、4年次前学期の少人数の「教育実習ゼミ2」の中で個々の課題に応じた事前指導、事後指導を行っている。

### 4. 就職指導と教員採用試験の対策

教職学生専用の学習室を設置し、常に教材研究ができ、就職に関する情報を得られる場を提供している。3年次後学期より積極的に教員採用に関する情報を提供し、4年次前学期は教員採用試験1次試験の対策指導（勉強会）や、1次試験合格者を対象に2次試験のための特別指導（模擬授業、実技試験・集団面接・ロールプレイ等）を行っている。

### 5. 学校ボランティア・教育委員会等との連携協力の推進

横浜市教育委員会と連携・協働に関する協定書を交わし、横浜市立学校での教育実習やボランティア活動を実施している。また、本学では近隣の中学校の放課後の学習指導に参画しており、教職選択科目として「学校インターンシップ」を開講するなど、学校現場における体験やボランティア活動を積極的に推進している。

### 6. 卒業生に対するサポート

卒業後教員を目指している卒業生に、教員採用の動向や教員採用試験などに関する情報を提供し、支援している。